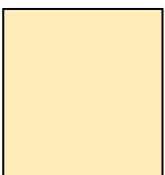
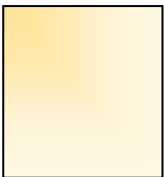


紺藤織物 株式会社

2023 年度 環境経営レポート

【 2022 年 9 月～2023 年 8 月】

作成日 ： 2023 年 11 月 30 日



目 次

ご挨拶	P 2
環境経営方針	P 3
1. 事業者活動の概要	P 4
2. 認証・登録の対象組織・活動	P 4
3. 組織体制	P 5
4. 環境経営目標とその実績	P 6
5. 2023年度 環境経営計画の具体的な取り組みと評価、 および次年度の取組み	P 7
6. 2024年度 環境経営活動の取り組み計画	P 13
7. 環境関連法規制の順守状況	P 14
8. 2023年度代表者による全体の評価と見直し・指示	P 14



ご 挨 拶

紺藤織物株式会社は事業活動を通じて、持続可能な社会の発展に貢献していきます。私たちは、法令を遵守することはもとより、多様化するステークホルダーの期待や要望に応えるために、積極的なコミュニケーションを図り、私たちに何ができるかを、常に考え、社会的責任を果たす活動を自主的、かつ積極的に推進していきます。

当社の環境活動においては、「母なる湖」琵琶湖を世代を超えて共有すべき財産として守り伝えていくため、湖と企業活動の共生をめざし、エコアクション 21 活動を柱に、一層の環境負荷低減に努め、自然と人類の共存を図る取り組みを行っていきます。

紺藤織物株式会社

代表取締役社長 山 川 藤 治



®環境省

エコアクション21

認証番号 0001431

環境経営方針

当社の産業資材用織物及び撚糸コードの設計・開発、製造及び販売活動の中で、環境保全が経営の重要課題であることを認識し、エコアクション 21 環境経営システムを構築・運用し、全社一丸となって自主的・積極的に、環境経営活動に取り組みます。

<環境保全への行動指針>

1. 環境関連法規制や当社が約束したことを遵守します。
2. 環境目標を定め、定期的に見直しを行い、継続的改善に努めます。
3. 具体的な取り組みとして次のことを推進します。
 - (1) 脱地球温暖化社会のための省エネルギーとして、電気使用量を削減します。
 - (2) 循環型社会のため 単純焼却の廃棄物を削減します。
 - (3) 省資源のため生産ロスを低減します。
 - (4) 水資源の節約として 上水を削減します。
 - (5) 作業環境を全員参加の 5 S 改善活動で進めます。
 - (6) 化学物質の適切管理に努めます。
 - (7) 環境に配慮した織物、撚糸コードの積極的な提案（設計・開発）を進めます。
 - (8) 事業所周辺の水辺の環境や生き物の保全活動を行います。
4. 全従業員にこの環境経営方針を周知します。

制 定 日：2018 年 9 月 1 日

紺 藤 織 物 株 式 会 社

代表取締役社長 山川 藤 治

1. 事業者活動の概要

(1) 事業者名及び代表者名

事業者名 紺 藤 織 物 株 式 会 社
代表取締役社長 山川 藤治

(2) 所在地

滋賀県高島市新旭町藁園 1498 番地

(3) 環境保全関係の責任者及び推進者連絡先

責任者 取締役 総務管理部長 : 中村 宏幸 TEL : 0740-25-3431
担当者 取締役 技術部長 : 福田 藤博 TEL : 0740-25-3431
技術部 : 三浦 和史 TEL : 0740-25-3431

(4) 事業内容

産業資材用織物及び燃糸品の設計・開発・製造・販売

(5) 事業年度

9 月 1 日～8 月 31 日

(6) 事業規模

活動規模	単 位	2021年度	2022年度	2023年度
生産重量	t	2,627	2,620	2,541
売上高	百万円	1,073	1,148	1,231
従業員	人	88	87	94
床面積	m ²	13,709	13,709	13,709

(7) 主な環境負荷の実績

項 目	単 位	2021年度	2022年度	2023年度
二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	878,553	925,185	920,925
廃棄物排出量	kg	165,032	202,406	218,463
一般廃棄物	kg	55,672	54,096	51,793
産業廃棄物	kg	109,360	148,310	166,670
水使用量	m ³	731,210	928,452	969,303
上水	m ³	410	452	703
地下水	m ³	730,800	928,000	968,600

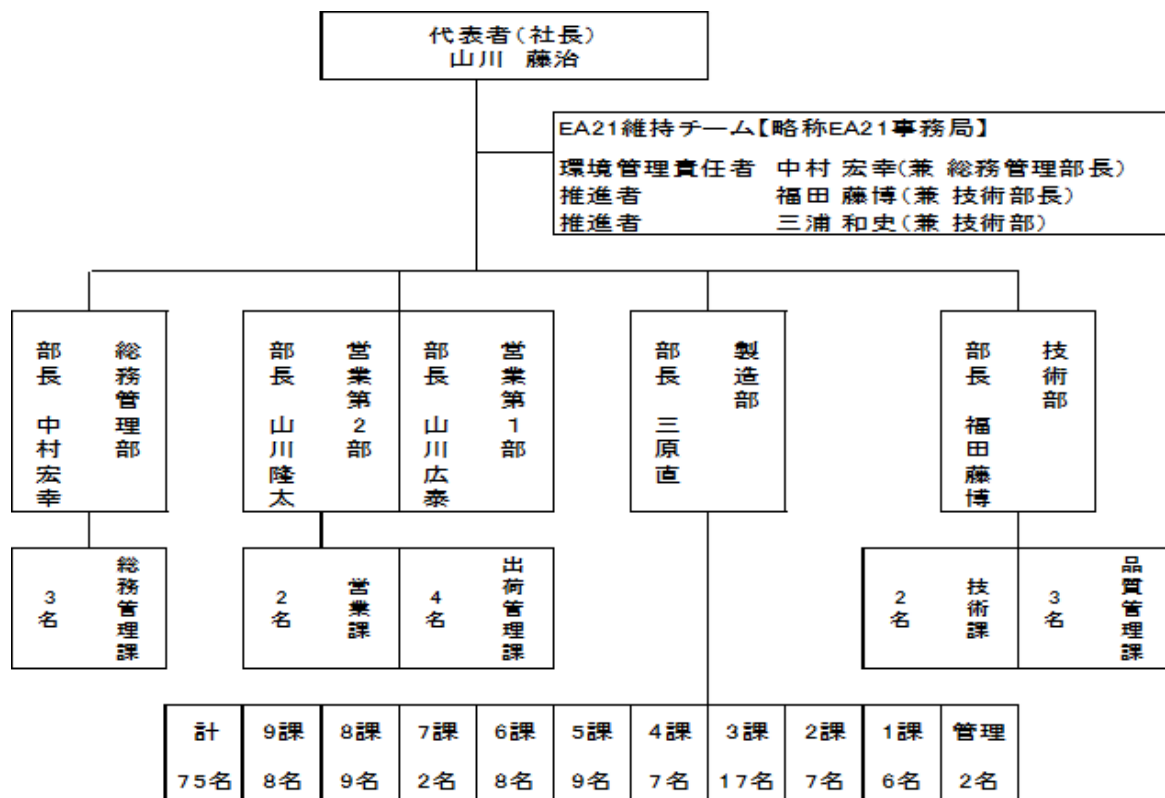
2. 認証・登録の対象組織・活動

登録組織名：紺藤織物株式会社（全組織・全活動対象）

活 動：産業資材用織物及び燃糸品の設計・開発・製造・販売

3. 組織体制

紺藤織物株式会社 環境経営システム組織図



	役割・責任・権限
社長	- 環境経営に関する統括責任 - 環境経営システムの実施及び管理に必要な、人、設備、費用、時間を用意 - 環境管理責任者を任命する - 環境経営方針の策定・見直し及び環境目標の設定を承認し全従業員へ周知 - 経営における課題とチャンスの明確化 - 環境への取り組みの重点分野を明確にするとともに、環境経営の継続的改善を誓約する。 - 代表者による全体の評価と見直し・指示
環境管理責任者	- 環境経営システムを構築し、実施し、管理 - 法規制等の要求事項登録簿を承認 - 環境活動実施計画書を承認 - 環境活動の取組結果を代表者へ報告
EA21 取得・維持チーム 【略称】 EA21 事務局	- 環境管理責任者、E A 2 1 推進の事務局 - 環境への負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施 「環境関連法規等チェックリスト」の作成 - 環境目標・環境活動実施計画書原案の作成 - 環境活動実施計画の実績集計 - 環境関連の外部および内部コミュニケーションの窓口
部課長	- 自部課における環境方針の周知 - 自部課の従業員に対する教育訓練の実施 - 自部課に関連する環境目標及び環境活動計画の実施及び達成状況の報告 - 特定された項目の手順書作成及び運用管理 - 自部課の特定された緊急事態への対応のための手順書作成、テスト・訓練・記録 - 自部課の問題点の発見、是正、予防処置
全従業員	- 環境方針を理解と環境への取組の重要性を自覚 - 決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

4. 環境経営目標とその実績

2021 年 9 月 1 日より、第 6 次中期環境目標計画（2021 年 9 月～2024 年 8 月）をスタートさせました。

2019 年度（‘18/9～’ 19/8）の実績を基準として目標を設定しています。また、目標数値および実績は下記のとおりです。今期より、一部項目において原単位の見直しを行っています。

項目	2019年度(基準年度) (‘18/9～’ 19/8)	2022年度 (‘21/9～’ 22/8)	2023年度 (‘22/9～’ 23/8)		2024年度 (‘23/9～’ 24/8)
	実績	実績	目標	実績	目標
購入電力に起因する二酸化炭素排出量の社内加工料当たり (kg-CO2/千円)	2.111	2.164	2.090	1.929	2.079
単純焼却廃棄物に起因する二酸化炭素排出量の加工料当たり (kg-CO2/円)	43.02	39.82	41.30	37.12	40.87
上水量 (m ³ /年)	580.0	452.0	432.1	703.0	429.2
5S改善活動 (点/年以上)	65.2	66.6	66.5	66.9	67.0
ロス率の低減 (%)	7.50	8.09	6.49	8.84	6.48
化学物質の適正管理 (AK-35 (PRTR 法非該当)) 使用量計測	12回/年 計測実施済	12回/年 計測実施済	12回/年 計測実施	12回/年 計測実施済	12回/年 計測実施
環境に配慮した織物・燃糸コードの提案 (件/年以上)	2021年度実績 3件	5件	5件以上	5件	5件以上
環境保全活動への参加	2021年度実績 24名	26名	前年比10%up	33名	前年比10%up

【補足説明】

- 第 6 次中期環境目標（2022 年度～2024 年度）に使用する原単位は、社内加工料（円）を分母としています。社内加工料とは、当社内で使用する数値で、比較的タイムリーに生産状況を反映する数値であるため、各環境経営項目との整合性を高めるために変更しました。
- 購入電力に起因する二酸化炭素排出量の排出係数は 2018 年度関西電力調整後排出係数 0.334kg-CO2/kWh を使用しています。
- 水資源は、計測上の問題から上水のみを目標としています。地下水は令和 5 年 7 月 8 日に水質分析を実施し、第 3 者機関より水質汚濁環境基準に合致している証明を頂いております。
- 化学物質の管理において、当社では PRTR 法に基づく物質を一切使用しておらず、検査時に使用する有機溶剤（汚れ落とし）の AK-35 の適正管理に努めます。
- 産業資材用織物、燃糸コードにおいて、環境に配慮した設計・開発の提案を積極的に行い、その提案件数を目標とします。
- 生物多様性に関する取組みは、当地域で開催される環境保全活動に積極的に参加し、参加延べ人数としています。

5. 2023年度 環境経営計画の具体的な取り組みと評価および次年度の取組み

取り組み	結 果
1. 電気量の削減・・・社内加工料対比 (1) 製造部全体の稼働率 UP (2) 織機、送風機等のVベルトの切り替え継続 (3) コンプレッサーの適正運用 (4) 冷暖房の適正運用及びメンテナンス強化 (5) 工場エアコン化の管理強化	【評価結果 ○】 目標値 : 2.090kg-CO2/千円 以下 実績値 : 1.929kg-CO2/千円 達成率 : 110.0% 目標を大幅に達成できた。その主因は、加工料の改定(値上げ)に伴い比率が改善されたものである。これにより、エアコン化等の増エネ要因を吸収した形となった。また、新規設備の導入による生産性向上が図られた 【次年度の取組み】 新規工場の稼働を来春に予定しており、大幅な増エネとなる。新規織機および生産管理面の適正運用により一層の生産性向上を図る。
2. 単純焼却の廃棄物の削減・・・社内加工料対比 (1) 3Rの徹底(教育訓練) (2) 織物、燃糸の端末部のリサイクル化の周知徹底 (3) ゴミ袋使用量削減の見える化	【評価結果 ○】 目標値 : 41.30 kg-CO2/円 以下 実績値 : 37.12 kg-CO2/円 達成率 : 111.7% 目標は達成でき良かったものの、対生産重量から評価した場合、増加傾向であった。4月から再スタートした課別5S活動の影響もあるが、この項目は、実生産量での比較も必要である。 【次年度の取組み】 織物、燃糸の端末、余尺のリサイクル化を徹底していく。
3. 上水量の削減 (1) 使用実績を掲示する (2) 節水啓蒙シートを掲示する (3) 10月-2月節水強化期間設定 (4) 冬期水道管の点検強化	【評価結果 ×】 目標値 : 432.1m³/年 以下 実績値 : 703.0m³/年 達成率 : 61.5% 5月~7月の使用量の大幅に増加したが、原因の特定でき解消した。原因は試験機の更新時に油圧の冷却水の設定がMAXとなっていたことによるものであり、適正な水量に変更し解消した。、通常活動では、大きな問題はなかった。 【次年度の取組み】 通常活動の継続を行っていく。
4. 化学物質の適正管理 (1) AK-35 (PRTR 法非該当) の適正管理	【評価結果 ○】 適正管理 【次年度の取組み】 この状況を維持したい。

取り組み	結 果
5. 環境配慮した織物・燃系コードの提案 (1) 当社自らが設計・開発する提案 (2) 顧客のニーズを基にした設計・開発する提案	【評価結果 ○】 目標値 : 5 件以上 実績値 : 5 件 達成率 : 100.0% 自らが提案した案件が 1 件、顧客のニーズからの提案が 4 件となった。資材関連や自動車 EV 関連の提案であった。 【次年度の取組み】 既提案の製品化への具体的試作および既存分野以外へのアプローチ
6. ロス率の低減・・・仕掛総計(生産量)対比 (1) ビーム巻反数の改善 (2) 捨て耳長さの削減(製品を特定する)	【評価結果 ×】 目標値 : 6.50%以下 実績値 : 8.84% 達成率 : 73.3% 納期対応による切り替え増加し、また、少量での切り替え増加に伴う、ビーム巻量から発生するロスが増加した。 【次年度の取組み】 生産計画の組み合わせなどロスの究明を図り、さらなる改善に努める。
7. 5S改善活動による徹底率の向上・・・5S チェックリスト (1) 4ヶ月単位『5S・8つのムダ改善活動』の継続推進(毎月の全社会議で 成果発表) (2) 改善提案提出 1 件以上/4 ヶ月/人の励行 (3) 5S レクチャー強化	【評価結果 ○】 目標値 : 66.5 点以上 実績値 : 66.9 点 達成率 : 100.6% コロナ禍影響で見送ってきた 5S 原価低減会議や課別改善を 2023 年 4 月から再スタートさせた。再スタートを受け、原点の 3S「整理・整頓・清掃」の徹底活動を進めている。 【次年度の取組み】 今期に引き続き、3S の徹底活動を課別単位で推進していく。
8. 地域環境保全活動への参加 (1) 地域の水辺の環境保全活動の調査 (2) 保全活動への参加	【評価結果 ○】 目標値 : 29 人以上参加 実績値 : 33 人参加 達成率 : 113.8% 高島経済会の地域清掃、琵琶湖清掃活動が主な活動となった。今期より地域とも連携し、工場周辺の河川が下流域にあるビオトープに接続しており、その河川清掃を開始した。 【次年度の取組み】 地域との連携を強め活動を行っていく。また、自社独自でも活動を検討する。

※評価結果 ○ : 目標達成 △ : 目標達成率 95%以上 × : 目標達成率 95%未満

今期の取組みトピック

◆新規工場建設化計画が始動

今期に入り、新規工場建設を2024年1月の完成を目指し計画をスタートさせました。

計画では、織布工程・整経工程の機能を持つ生産工場として建設します。建設地は本社工場の隣接地に設けます。工場敷地面積は約5,000㎡、工場延べ床面積は2,200㎡となっており、当社工場では、過去最大の規模となります。生産の本格稼働は2024年3月を目指しています。

また、環境配慮型工場として、2024年9月には270kW容量の太陽光発電設備の設置を計画しています。今回は、自家消費を目的としており、当該工場で日中に使用予定している電力を、ほぼカバーする計画です。

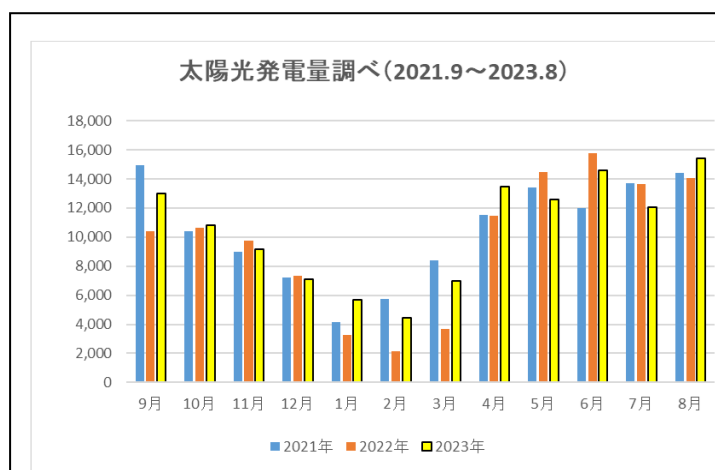
今期においては、土地の取得および造成工事が完了しています。

今回の計画を進めるにあたり、地域住民の方々のご理解と県市の行政機関のご支援に感謝申し上げます。



◆工場屋根太陽光発電設備実績

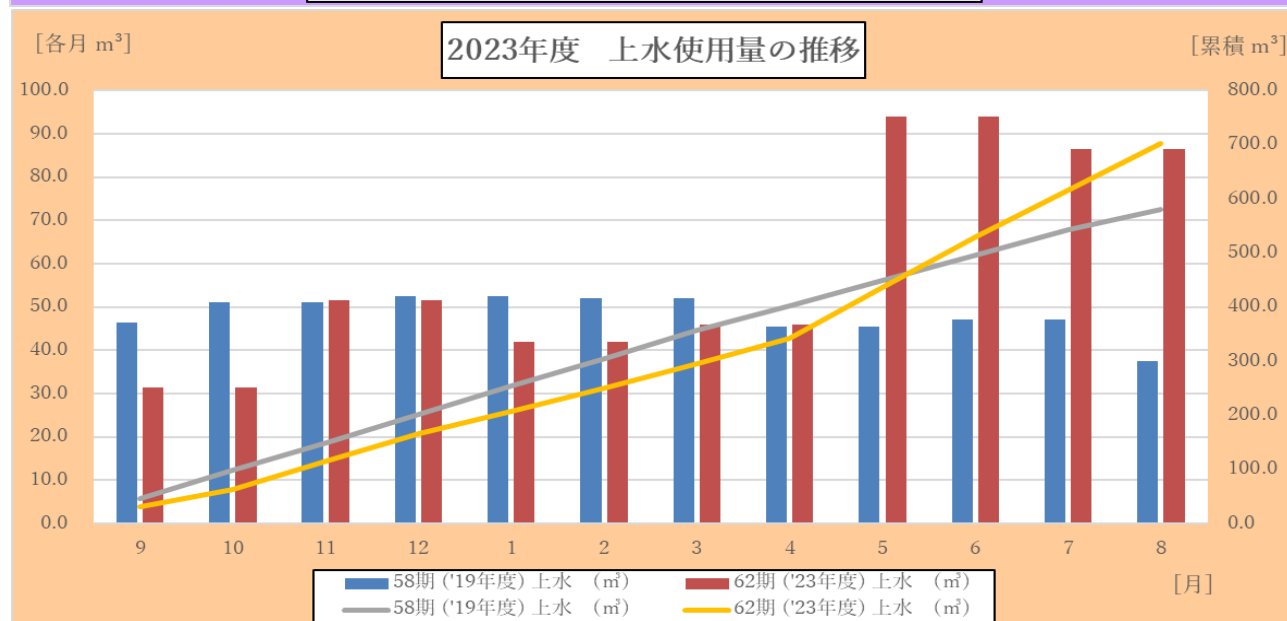
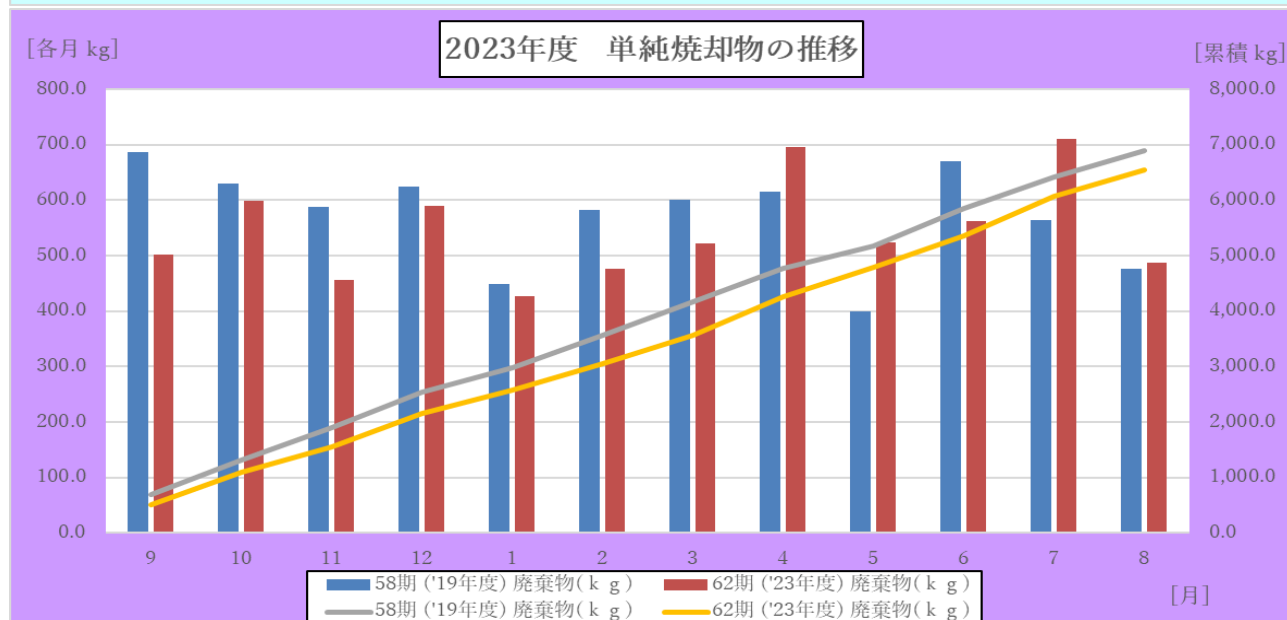
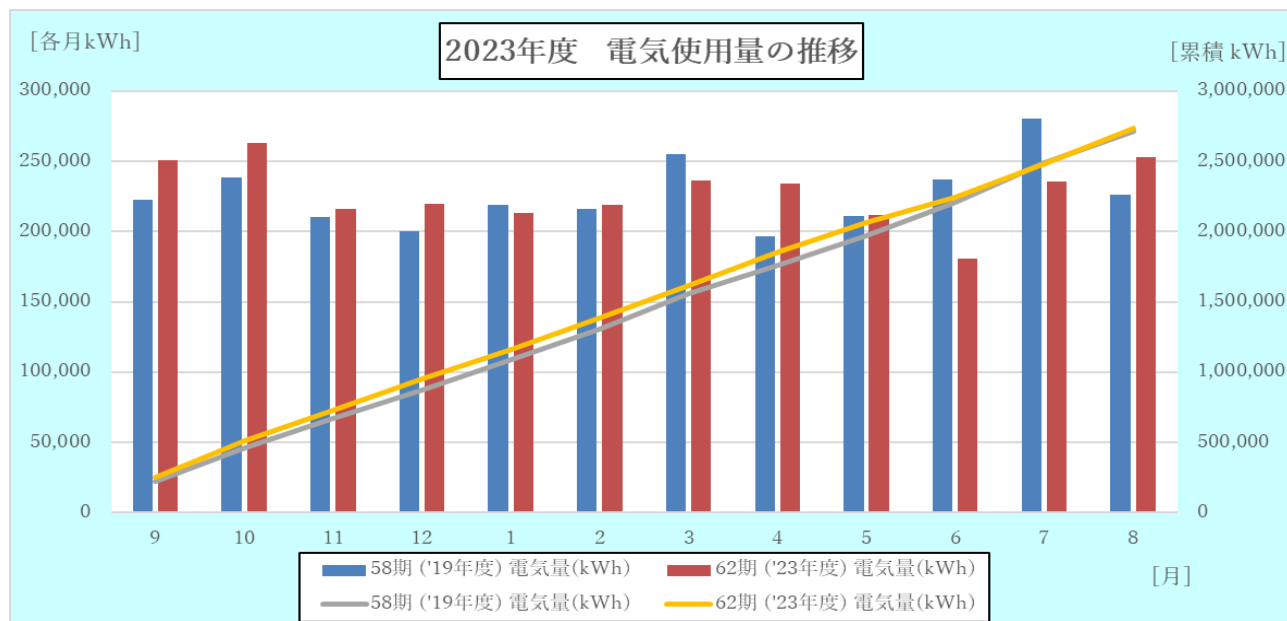
環境配慮型工場として、100kW容量の太陽光発電設備を屋根に設置しています。今期の発電量の実績は、以下の通りとなりました。

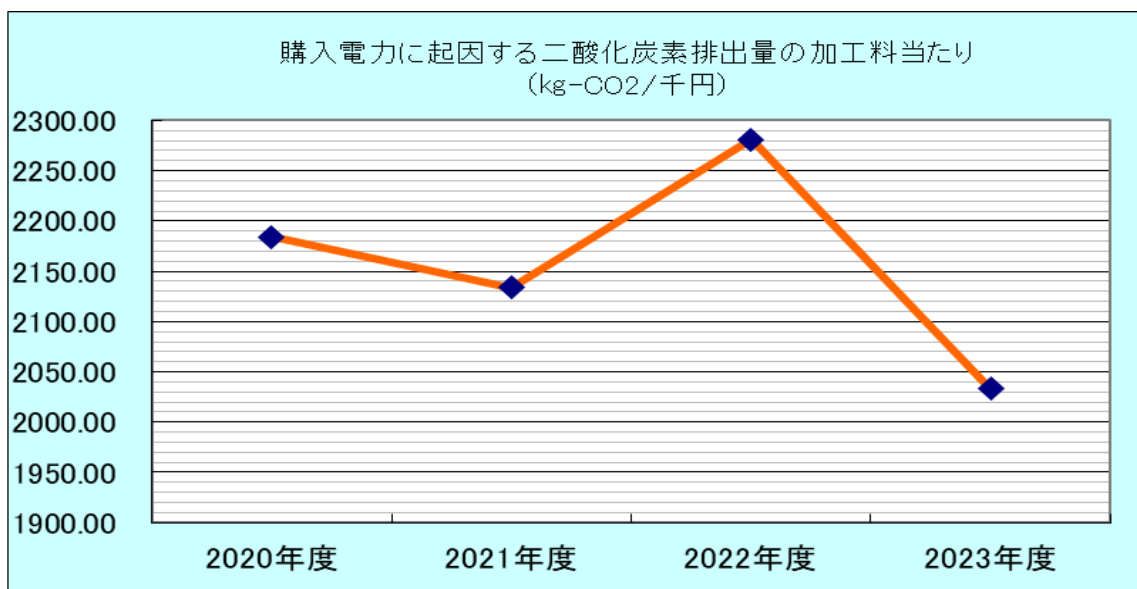


今期の発電量実績は、125千kWh/年となり前年比7%増で、前年(2022年)のような豪雪やパワーコンディショナーの故障などによる発電量の大幅な落ち込みは無く推移しました。2021年対比では、ほぼ同等の発電量となりました。

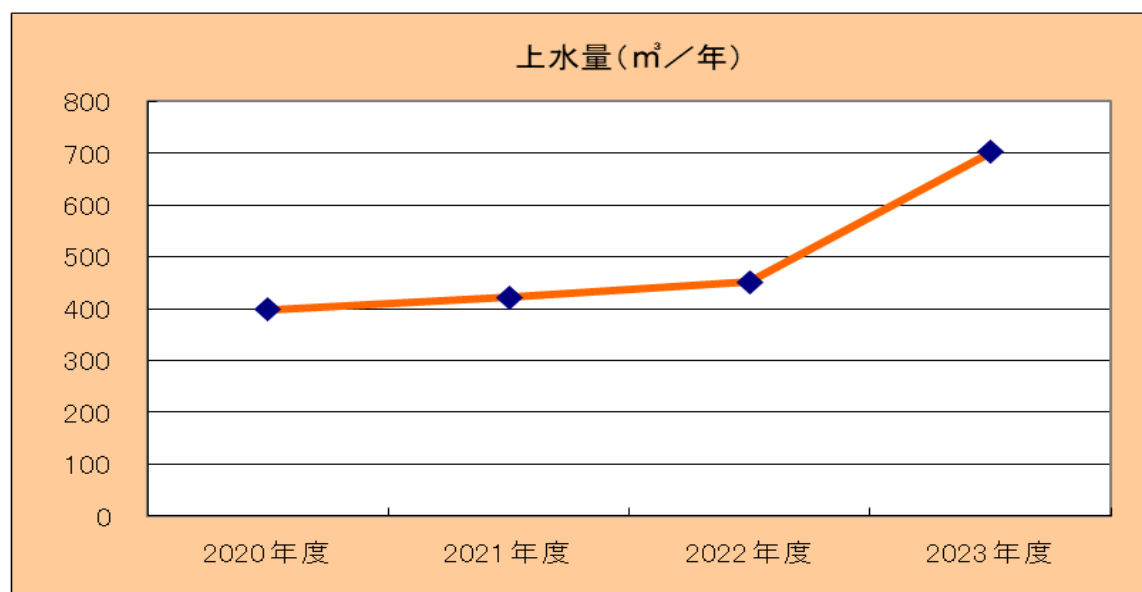
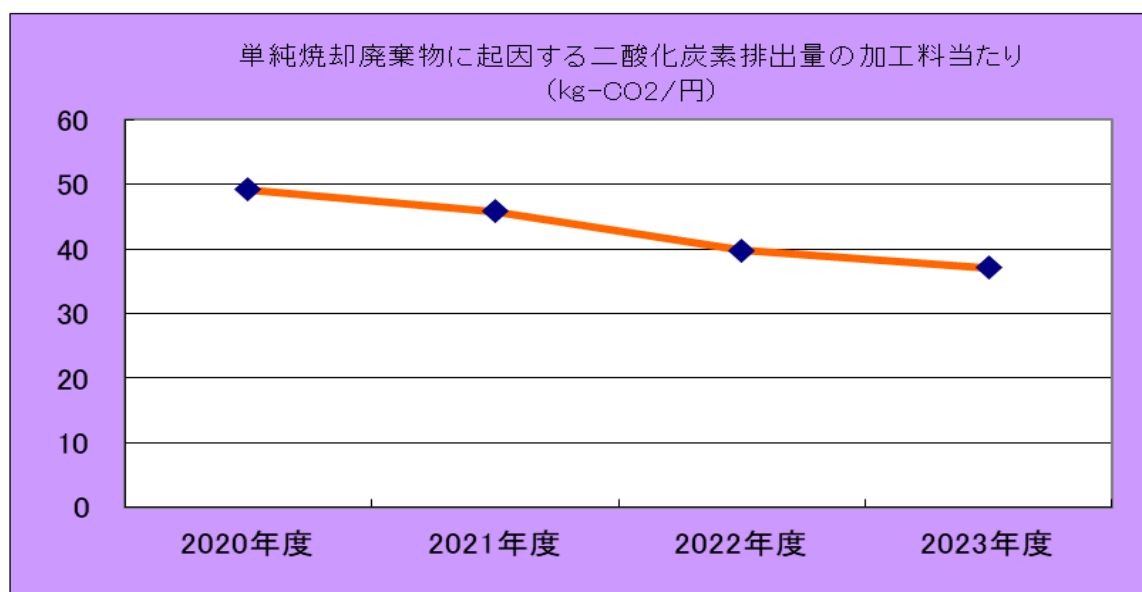
この発電量は、設置している工場の使用電力量の70%程度をカバーしている計算となります。

◆今期 実績グラフ

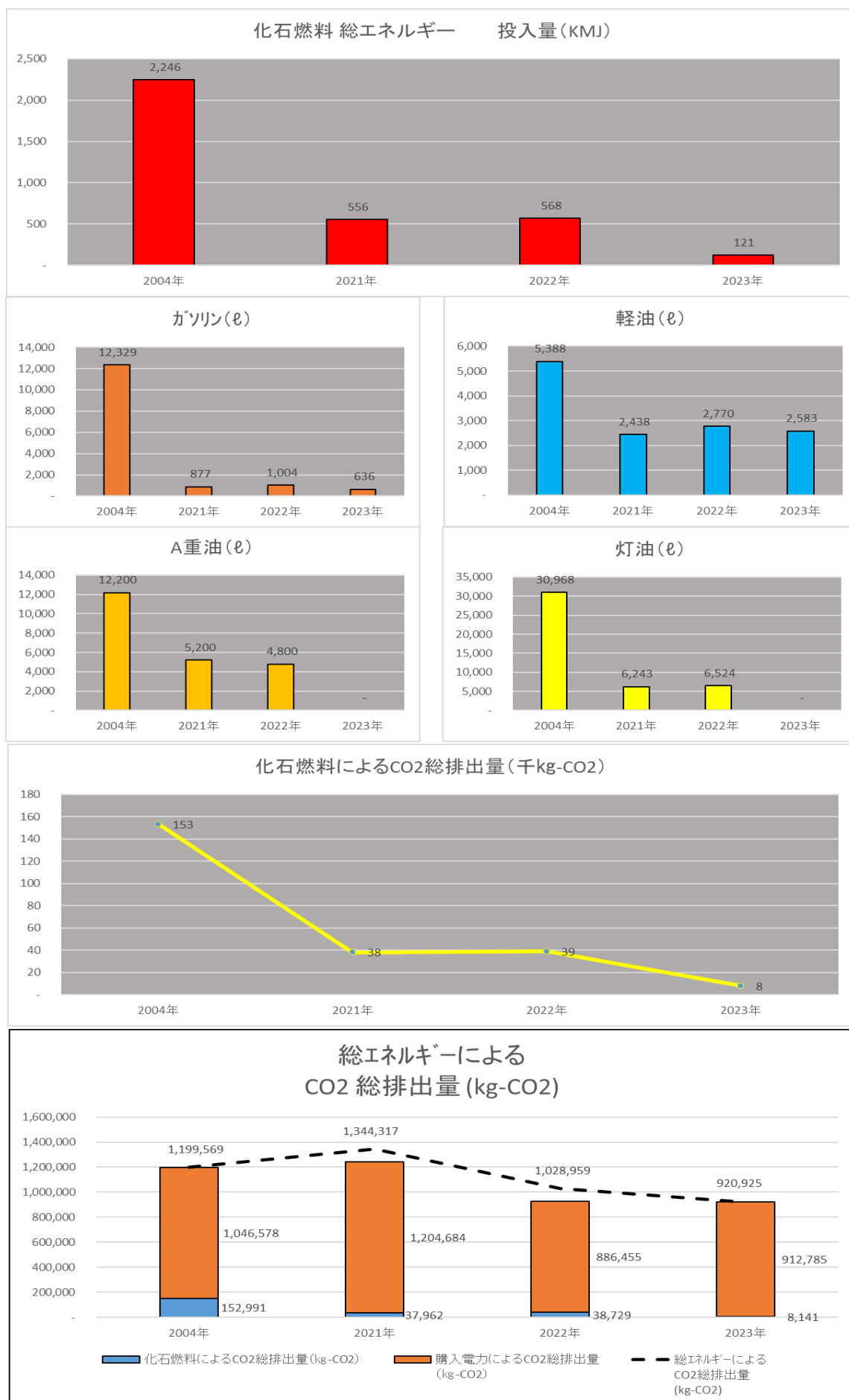




※ 排出係数は、関西電力2018年度排出係数0.334kg-CO₂/kWhを使用しています。



※2004 年度は、当社の EA21 活動をスタートさせた 2007 年度の基準年度にあたります。



6. 2024年度 環境経営活動の取り組み計画

取り組み計画	目標値
1. 電気量の削減・・・社内加工料対比 (1) 製造部全体の稼働率 UP (2) 「エナッジ」を活用した管理強化 (3) 工場エアコン化の管理強化 (4) 冷暖房の適性運用及びメンテナンス強化 (5) コンプレッサーの適性運用	目標値 : 2.079kg-CO2/千円 以下
2. 単純焼却の廃棄物の削減・・・社内加工料対比 (1) 3Rの徹底(教育訓練) (2) 織物、燃糸の端末部のリサイクル化の周知徹底 (3) ゴミ袋使用量削減の見える化	目標値 : 40.87 kg-CO2/円 以下
3. 上水量の削減 (1) 使用実績を掲示する (2) 節水啓蒙シートを掲示する (3) 10月-2月節水強化期間設定 (4) 冬期水道管の点検強化	目標値 : 429.2m ³ /年 以下
4. 化学物質の適正管理 (1) AK-35 (PRTR 法非該当) の適正管理	設定なし
5. 環境配慮した織物・燃糸コードの提案 (1) 当社自らが設計・開発する提案 (2) 顧客のニーズを基にした設計・開発する提案	目標値 : 5件以上
6. ロス率の低減・・・仕掛総計(生産量)対比 (1) ビーム巻反数の改善 (2) 捨て耳長さの削減(製品を特定する)	目標値 : 6.48%以下
7. 5S改善活動による徹底率の向上・・・5Sチェックリスト (1) 4ヶ月単位『5S・8つのムダ改善活動』の継続推進 (毎月の全社会議で成果発表) (2) 改善提案提出1件以上/4ヶ月/人の励行 (3) 5Sレクチャー強化	目標値 : 67.0点以上
8. 地域環境保全活動への参加 (1) 地域の水辺の環境保全活動の調査 (2) 保全活動への参加	地域の環境活動参加者 : 36名以上

7. 環境関連法規制の順守状況

1. 当社に適用される主な法規制等と現在までの順守状況

法律及び法令の略称	当社に適用される要求事項	順守状況
廃棄物処理法 (廃棄物の処理及び清掃に関する法律)	一般廃棄物・産業廃棄物の保管および運搬	適
	産業廃棄物の運搬・処理の委託	適
	産業廃棄物管理票の運用、交付等の報告	適
騒音規制法	規制基準の遵守義務	適
	特定施設の届出	適
振動規制法	規制基準の遵守義務	適
	特定施設の届出	適
フロン排出抑制法	簡易点検および定期点検の実施	適
消防法 ・高島市火災予防条例	一定規模以上の事業所に対する規程	適
	第4類危険物の指定数量	適
	指定可燃物の届出	適
	消防用設備等点検結果報告書	適

2. 順守状況及び違反、訴訟などの有無

当社の環境関連法規の重大違反や訴訟はありません。関連当局の違反等の指摘及び住民より苦情も、過去3年間ありません。今後も最新法令を確認しこれを順守します。

8. 2023年度代表者による全体の評価と見直し・指示

2023年8月25日

代表取締役社長 山川藤治

第6期中期環境経営計画の2年目の今期は、コロナ影響も落ち着き増収となりました。生産量の伸びは僅少であり、増収の主因は長年実施できなかった価格改定（値上げ）をお客様にご了解が得られたことは、大変ありがたかったです。一方で、電気料金や機械および部品等の大幅な値上げ、人件費（賃上げ）の大幅な増加など経営課題も多く、厳しい経営環境となりました。

その様な経営環境化の中、EA21活動の主要取り組み項目は、電力量削減並びに単純焼却の廃棄物の削減は目標達成ができました。上水量の削減では、一過性の要因により未達成ではあったものの、活動自体は前進しており問題はありませんでした。その他の目標についても同様に、妥当性を確認し、継続して取り組むことにより環境経営システムは前進しています。

来期には、当社最大の工場が誕生し、生産を開始する予定であり、これを機により一層の環境型ものづくり企業として発展できるよう、従業員とともにEA21に取り組んでまいります。

上記を踏まえ、環境経営システムは有効に機能し問題なく継続展開をしていきます。

〔変更の必要性〕

環境経営方針	☒ 変更なし	☐ 変更あり
環境経営目標・計画	☒ 変更なし	☐ 変更あり
実施体制他	☒ 変更なし	☐ 変更あり

環境アルバム

